



2024年12月18日 発行

発行：ひまわり号を走らせる全国連絡会  
福島県田村市都路町岩井沢字道の内 100-4 渡邊方  
✉hashire.himawarigo@gmail.com  
発行責任者：渡辺 和博

全国の皆さん、こんにちは！  
皆様お変わりありませんか？？

季節の移り変わりはあっという間で、もはや師走！！  
各実行委員会の皆さんはひまわり号の運行に様々な知恵を出し合って活動してこられたと思います。  
そんな運行報告をいただいたので共有したいのと、来年開催予定の全国総会&交流会も全国連絡会のメンバーで準備を開始しましたので皆様にお伝えできたらと思います。  
最後までお付き合いください！！

## 「41回 ひまわり号を走らせる全国連絡会 総会」 & 「全国交流会 2025in 東京」の場所決まる！

皆様、大変お待たせしました！！  
今年度の総会&交流会の日程が決まりましたのでお知らせしますね！

開催地は東京ということで調整しておりましたが、来る2月8日（土）から2月9日（日）に、東京台東区台東区民会館にて開催する予定です！！

近くには浅草・浅草寺の場所ともあり、多くの観光客で賑わう場所で開催する予定です！！

いつもより1か月早い開催ですが、みなさんと早い機会に交流会を開催したいという思いから1か月早い開催となりました。

まだ内容に関しては運営委員会で検討中のため、まだ開催概要としては改めてご案内させていただきます。参加のための手配もあるかと思しますので、まずは通信でご案内します！

アフターコロナ禍でひまわり号を開催する糧になるような総会交流会にしたいと思っているため、多くの実行委員会の参加をお待ちしております！！

### —台東区民会館—

東京都台東区花川戸2丁目6-5 8階・第5会議室。 [city.taito.lg.jp](http://city.taito.lg.jp)

東武線、東京メトロ銀座線、都営浅草線、つくばエクスプレス 浅草駅が最寄り駅です。

※仲見世の通り周辺は観光客が多くて身動きが取れない可能性もありますのでご注意ください！



## 「東京北部ひまわり号の歴史を語ろう！！ 東京東田端で写真展・配布会開催！！」

金子相談役を介して、東京北部ひまわり号で事務局長をされていた吉田 道さんから「ひまわり号の写真展を開催することにしました」との話が来ました。

吉田さんからは「ひまわり号の歴史が分かる物はありませんか？」との問い合わせがあり、全国連絡会として共有して対応させて頂きました。

写真展の開催に向けて、

1. 吉田さん自身が携わってきたひまわり号が今現在どのような形になっているのか？
2. ひまわり号があったことで、社会的に何が変化しただろうか？
3. ひまわり号活動をしている皆さんにとって、「ひまわり号とは何ですか？」

・・・等々の話しを交えながら、「色々な立場の人も含めて、たくさんの方とひまわり号を語りたい」と言われていた吉田さん。私だけでなく、運営委員それぞれが吉田さんとやりとりを重ね、色々な立場での「ひまわり号」に対する思いを聞かれたようです。

「当日は、是非いらして下さい。」とのお誘いを受けました。

11月3日（日）写真展当日を迎え、東京北区にある「東田端ふれあい館」にて吉田さんと初めて会い、東京北部ひまわり号の歴史を改めて触れる事となりました。

写真展としては、ヘッドマークでのお出迎え、行き先毎の写真展示の他パネル展示、記念誌の展示がありました。白黒写真が多く、少し時代の差は感じましたが、写っている皆さんの表情は、自分もよく知っている笑顔でした。一番前のスクリーンにてNHKの取材を受けてのひまわり号当日の様子が流れており、とても貴重な映像でした。一番最初のひまわり号「東京から日光」を走らせ、翌年に「成田山」へと走らせている東京北部ひまわり号の活動を映像で見ることが出来ました。大塚相談役の若かりし姿も元気に声を出している姿も拝見しました。

写真展の会場に来られている方々の多くは、スタッフとしてひまわり号活動に従事したのですが、時を経ても、「ひまわり号」という縁で人と人が繋がっていく・・・そんな素敵な時間だったように思い、会場を退出しました。

（事務局長 岡田和枝）



### —全国連絡会より—

今回の写真展開催に際し、全国連絡会より祝花を用意させていただき、実行委員会へ贈っていますそして展示された写真の一部を全国連絡会に寄贈いただきましたので、今回の交流会に展示をする予定です。また、主宰の吉田道さんが交流会当日お手伝いいただけるとのことです。お楽しみに！！





## 札幌実行委員会 5年ぶりの列車の旅イベント

### 「ひまわり号2024in小樽」無事に終える！！

(2024年9月29日 札幌駅—小樽駅 小樽市内散策 114名)

2024年9月29日(日)、札幌実行委員会開催の「ひまわり号2024in小樽」が札幌駅から小樽駅まで運行し、総勢114名で旅をしてきました。

札幌実行委員会として5年ぶりとなる列車の旅で、感染対策等で重腰だった中、後藤前実行委員長や、旅行会社旅システムの内山社長が天へ召され悲しみに包まれている中、「2人がやりたかったひまわり号をやろう！」と事務局長の音頭で4月より短時間で準備となりました。

5年ぶりの準備は前途多難で、JRの調整や小樽市の自由散策の準備などすべてが1からの準備となったり、事務局総出で天手古舞になりながら準備を進めました。

当日は絶好の青天となり、札幌駅南口の集合場所に総勢174名が揃い「久しぶりだね！」と再会を喜ばれたり、久しぶりの列車の旅を楽しまれておりました。

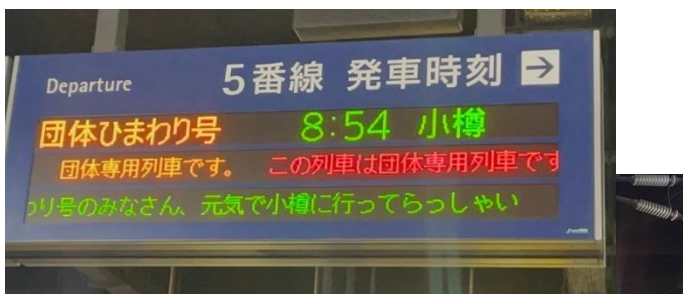
小樽では自由散策として、小樽運河方面にて過ごしました。高低差がある小樽なので、札幌市の福祉バスを主要ポイントにて停車させたり、送迎車をピストン輸送し、参加者たちの負担を減らす工夫をしました。

観光客が多い中、各ペアが行きたい場所に行ったり、散策されたりと楽しまれたようです。

帰りの列車では海へ沈む夕日を左手に楽しかった旅の余韻を楽しまれたり、会話が弾んでいました。

札幌駅に帰ってきての「さよならセレモニー」では、無事に終えられた余韻をみんなで共有し、札幌実行委員会流の「1本締め」(後藤前実行委員長がやっていたものを再現)をして閉幕。また来年の再会を願って解散となりました。

(札幌実行委員会 事務局次長 内田慎吾)





enjoy いばらき実行委員会

## 新幹線や寝台特急北斗星の車両で愉しみました！

(2024年11月30日 下館—茨城県筑西市「ユメノバ」へ 60名)

「enjoy いばらき実行委員会」では3月2日（土）にアクアワールド（大洗水族館）に運行しましたが、今回2度目のひまわり号として、11月30日（土）に今年2月にオープンした、茨城県筑西市にある「ユメノバ」へ障がい者の方14名を含む60名で運行しました。

ユメノバには過去に茨城県内で走っていた鉄道が静態保存展示されておりますが、過去のひまわり号のことを展示していただいたことから、参加者の皆様にも見ていただきたいとサプライズ多めの運行となりました。

enjoy いばらき実行委員はコロナ禍後の活動再開してから、15名以上の新スタッフが加入し新体制での運行となり、定例会や研修にも力を入れ当日は3方向から、マニュアルを参考に全員が迷うことなく下館駅に集まることができました。

昼食は展示している新幹線の中で駅弁を食べて、車内で実際に使われていた車内放送を流し、「旅行に行ってみるみたいで良かった」と感想をいただきました。

北海道新幹線の一部開通で廃止となった寝台特急「北斗星」の車両も展示もあり、A寝台個室（ロイヤル）やロビーカー、食堂車グランシャリオに車いすの方を誘導し、まるで乗車しているような体験をしていただきました。通路や個室の入口が狭く車いすの方は難しいかと思われましたが、スタッフと参加者様の信頼関係や協力があり抱えるなどして乗っていただけでとても喜ばれていました。

そのほか、クイズやじゃんけん大会を行い、正解した方や最後まで勝ち抜いた方へお土産をプレゼントし、みんなで盛り上がることができました。

前号に掲載の通り、使っていたヘッドマークをユメノバへ寄贈しており、今後展示される予定とのことです（掲示時期未定）が、解散前にそのヘッドマーク2種類と、ユメノバ様に作成して頂いた歓迎看板と一緒に集合写真を撮りました。

参加者の方からは、これからも「ひまわり号」には参加していこうねと参加者同士で談笑しているところを聞き、次回への糧をいただきました。

これからも「みんなの笑顔」がでる「ひまわり号」を運行していきたいと思っています。



(enjoy いばらき実行委員会 実行委員長 田尻沙紀)

# 一利根沼田実行委員会・能代でひまわり号を走らせる会 解散のお知らせ

残念なお知らせをしなければなりません。

群馬県の利根沼田実行委員会が11月26日の実行委員会で解散になりました。

実行委員長だった木内みはるさんが亡くなったことと、10月13日にバス2台で豊洲にひまわり号を走らせた時、ボランティアが高齢化していて集まらなくなりました。

後継者を探していましたが、会議で引き継ぐ人がいませんでしたと報告をいただき、運営委員一同驚きを隠せませんでした。

利根沼田実行委員会の皆さん、長い間お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

同じく「能代でひまわり号を走らせる会」が今年の活動をもって解散となったこともお知らせいたします。

## ◆運行調査票の提出のお願い◆

今年度の運行情報を皆さんと共有したく、今年度も「運行調査票」を同封させていただきました。運行の有無関係なく、全実行委員会の情報や悩み・課題などを全実行委員会と共有し意見交換のツールとしたり、全国連絡会の課題共有としても活用したいので、必ずご記入いただき、副運営委員長の内田までご返送ください。

なお、Excelでのフォームもありますので、全国連絡会のメールアドレスにご連絡いただけたらこちらから添付して返送させていただきますので、お知らせください。

年末年始のご多忙の中とは思いますが、ご協力をお願いいたします。

編集後記> 今号もお付き合い、ありがとうございました。

残念なお知らせもありながらも、2実行委員会の運行報告を掲載させていただきました。

アフターコロナの中、どのようにしたらこのような実行委員会の活動ができるか、とても悩ましいことと思います。

5年ぶりに運行ができた札幌実行委員会のひまわり号では、列車運行のJR北海道さんの体制が5年前の運行時とシステムが変わり、また担当された方も新しくなり、全くの振り出しからのスタートに近い状態だったようで、入念な打ち合わせが必要だったようです。

そんな運行に関することや、実行委員会の運営のことなど様々な課題がある中、今回の総会交流会では、その悩みをみんなで共有し、議論をして明日からの活動の糧にさせていただけたらーということをテーマにプログラムを展開できたらと思っています。

開催要項・申込書が完成し、お手元に届きましたらぜひご参加いただけたら嬉しいです。

皆様のご参加、心からお待ちしています。

運行調査票も出してくださいね！！

※写真は札幌ひまわり号での号車集合写真です。

